

令和4年度

デジタル化をお考えの中小企業の皆様へ

中小企業 DXハンズオン 相談支援

DX事例集



課題解決に向けて
企業に寄り添った伴走型支援

一般財団法人 さっぽろ産業振興財団



CONTENTS

CHAPTER 01 「DX化」について 3

DX化とは何か、DX化のメリットなどDXのポイントを分かりやすくご紹介します。

CHAPTER 02 中小企業DXハンズオン相談支援の流れ 4 - 5

ご相談をいただいてから、ご支援させていただくまでの流れをご紹介します。

CHAPTER 03 相談事例紹介

今年度、実際にDX化の支援をさせていただいた企業様を現場スタッフの声を交えながらご紹介します。

CASE - 1	星北商事株式会社	勤務時間のデジタル管理による業務効率化	6
CASE - 2	株式会社プライマル	導入済デジタルツール利活用による業務効率化	7
CASE - 3	株式会社エンヴェロップ	業務の効率化及び電子帳簿保存法への対応	8
CASE - 4	株式会社エアノート	生産性の向上、時間の創出、コスト削減	9
CASE - 5	株式会社イエテック	フォーム作成ツールによる作業負担軽減、印刷費用削減	10
CASE - 6	株式会社メイプル・ホーム	テレワーク環境の整備による移動時間削減	11
CASE - 7	株式会社北祐	テレワークツール導入による業務効率化	12
CASE - 8	株式会社ヤマテック	業務効率化、電子帳簿保存法対応、データ損失リスクの低減	13
CASE - 9	山鋼札幌株式会社	作業工数の削減、紙の使用量削減	14
CASE - 10	株式会社JSDハイセル	状況把握、電子帳簿保存法の対応	15

01 「DX化」について

DX化とは

DXとは、Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション) の略で、直訳すると「デジタル変革」という意味になります。

DX化を行うということは、企業がAI、IoT、ビッグデータなどのデジタル技術を用いて、業務フローの改善や新たなビジネスモデルの創出だけでなく、レガシーシステムからの脱却や企業風土の変革を実現させることを意味します。

DX推進はあらゆる企業にとって、変化の激しい時代のなかで市場における競争優位性を維持し続けるための重要なテーマとなっています。



DX化を進めると…

業務改善をはじめ様々な経営変革に繋がります！



AIツールを導入し
業務改善ができた！



顧客との連絡・連携が
スムーズに！



新たなマーケットに
挑戦できた！



生産性が上がり
利益が向上した！

私たちは、DX化を進め従業員やお客様取引先、金融機関などのステークホルダーに"選ばれる企業"になるサポートをいたします。

02 中小企業DXハンズオン 相談支援の流れ

ご相談をいただいてから、ご支援させていただくまでの流れをご紹介します

4つのステップでDX化をサポート！



資格を保有した専任DXアドバイザーによる
定期訪問と伴走支援で企業のDX化をサポートします。

STEP 01

現状把握と課題整理



現状把握

DXヒアリングの実施と直近3か年決算書(最低直近1か年)の収集を行い現状把握を行います。



可視化

業務で扱う情報について、流れ・媒体・受渡方法などをヒアリングし一覧表にて可視化(当社作業)致します。



課題整理

診断結果を元に課題を整理し、「DXによる売上拡大」「DXによる業務改善」「DXによるリスク回避」に沿った目標を設定します。

STEP 02

DX(デジタル化)計画の策定

ステップ1にて抽出した課題を取りまとめ、実現可能な目標設定を行ったあと、支援期間内に事業を完了するための計画書(ロードマップ)を作成・提案致します。

対象支援企業とアドバイザー間で課題に対する意識や方向性を共有し、意見交換を踏まえつつ、計画を策定していきます。

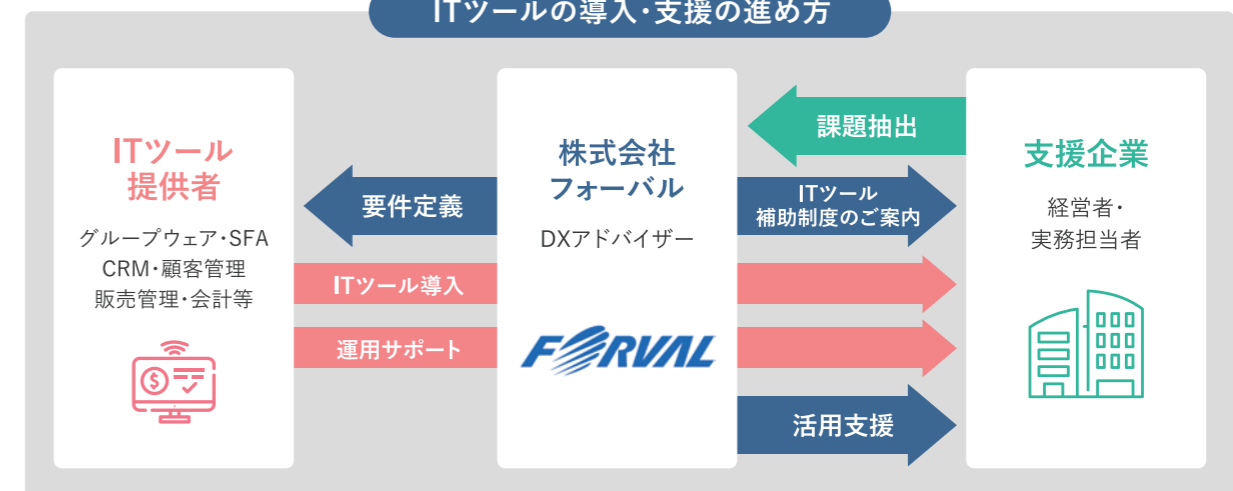


STEP 03

ITツール導入支援

- ITツールの導入には、実費費用が掛かる為、活用可能性が高い公的機関の各種補助、助成制度を支援企業に案内し、補助及び助成金獲得のための支援を行います。
- 担当する伴走支援者(DXアドバイザー)が導入したITツール提供先と連携し、有効活用が出来るよう、またITツール導入による課題解決が実現出来るよう伴走支援致します。

ITツールの導入・支援の進め方



STEP 04

ITツール活用・効果測定

- ITツールの導入前と導入後について専門的な観点から効果測定を実施致します。
- 「DX(デジタル化)計画の策定」にて作成したロードマップを元に進捗状況を整理分析を行い、新たな課題への取り組み項目の割り出しを行います。



03 相談事例紹介

CASE - 1

星北商事株式会社

- 事業内容 運送業(引越請負業、古物商)
- 従業員数 13名

事業参加までの
背景・課題

従業員の勤務時間の管理、把握に課題を持っていた。従来は対面でドライバーの勤務時間管理を行っていたが、事務所従業員とドライバーの勤務時間を正確に且つ効率的に管理していきたいと思い、本事業に参加した。

取組内容 | 勤務時間のデジタル管理による業務効率化

課題解決のために勤怠管理ツール(HRMOS勤怠)を選定した。
導入後、アカウントの発行や機能の打合せを実施した。
また、シフト管理などの細かな設定、問題点の洗い出しを併せて行った。
現在は、シフトの要望を取得するフローを検討中。

導入ツール

- HRMOS勤怠

導入成果・成果予測

- ✓ 勤怠管理ツール活用により、集計工数の削減につながった。
- ✓ ペーパーレス化により、印刷費の削減につながった。
- ✓ ペーパーレス化により、Co2排出量の削減につながった。
- ✓ DXを推進することでの効果を実感し、今後も進めていく意欲が高まった。

5時間/月
削減紙の使用量
削減

導入担当者の声

当社では従業員の勤怠管理を紙ベースで行っていたこともあり、時間がかかっていましたが、支援していただければ、一元管理ができるようになり、集計する時間も大きく削減が出来た事でメリットを多く感じました。またDXに対する考え方をアドバイスいただけたことで、今後もDXを進めて行きながら会社のブランド向上を図っていききたいと思います。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

元々労働時間の管理を紙からデータで管理できるようにしたいと考えており、勤怠管理ツールを検討していましたが、初期設定や機能面、操作など調べる時間が取れず着手出来ていませんでした。お客様の勤務形態が複数あった為、データでの管理が実現できるかの検証をゴールに支援しました。

CASE - 2

株式会社プライマル

- 事業内容 不動産業
- 従業員数 4名

事業参加までの
背景・課題

既にデジタルツールを導入しているものの、業務効率につながっている実感なかった。そのため、業務において改善できることがあればアドバイスをもらいながら取り組みたいと思い、本事業に参加した。

取組内容 | 導入済デジタルツール利活用による業務効率化

Googleカレンダーの活用方法として、訪問先名だけでなく移動時間も入力するようアドバイスした。「空き時間」も記載することで、スケジュールに空白時間がないようにするルールを定めた。また、chatworkによるタスク管理活用支援の実施や、GoogleFormsの導入による管理物件の整理支援を実施。

導入ツール

- Googleカレンダー
- chatwork
- GoogleForms

導入成果・成果予測

- ✓ 翌日分のスケジュールを前日までに入力することにより、次の日の業務計画を社員自ら考えられるようになり、当日のアイドルタイムがなくなり、効率化につながった。
- ✓ タスクを可視化することにより、業務の見落としがなくなった。

業務時間
効率化リスクの
低減

導入担当者の声

事業に参加して、第三者(アドバイザー)からのアドバイスをいただけた事が非常に有難かったです。また社員のスケジュールやタスクの管理を細かく記載することで、他部署の社員もスケジュールを把握できるようになった事や、社員同士が連絡を取り合って業務を進めるようになり、効果を実感し始めているところです。これからも継続し、改善につなげていきたいと思っています。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

既にデジタルツールを利用されていましたが、効果的な使い方ができておらず、業務効率改善に繋がっていませんでした。そこで、利用しているツールの使い方を見直し、どのような変化があったのかを支援時に確認し、不都合があれば修正、継続実施することにより、定着化から効率改善に繋がることを想定して支援しました。

CASE - 3

株式会社エンヴェロップ

事業内容 建具工事業

従業員数 2名



事業参加までの
背景・課題

大手企業との取引があり、今後デジタル化が進む上で元請けから求められる事について対応できる状態にしておくべきだと危惧していた。一方で、自社がやるべき事が依然として整理されていなかった。

取組内容 | 業務の効率化及び電子帳簿保存法への対応

電子契約については電子契約ツール(シムワーク)を選定し、電子契約の利点、フローの説明、運用について支援を実施した。

経理書類の管理についてはクラウド型会計ツール(eco会計クラウド)を選定し、導入作業や証票登録作業・テスト運用を実施。

導入ツール

- シムワーク
- eco会計クラウド

導入成果・成果予測

- ✓ 実際に電子契約を使っているところも増えてきている中で、早期の整備ができた。
- ✓ 書類をデジタルで保管する事で管理の効率化に繋がった。
- ✓ 電子帳簿保存法改正に向けた整備ができた。

業務効率
UP

多様な
働き方へ

導入担当者の声

当社では見積りから集金迄の一連のフローを紙媒体で行っていましたが、今回ご支援頂き、デジタル化により時間短縮及び整理作業が格段に上がりました。また、DXのアドバイスを頂けたので今後もDXを進めていきたいと思います。

担当アドバイザーより お客様の課題による伴走支援の進め方

大手企業との取引があり、今後デジタル化が進む上で元請けから求められる事については対応できる状態にしておきたい要望がありました。その中でも電子契約は実際に使っているところも増えてきているため、自社で活用する事を想定し、ツールの操作や電子帳簿保存法の理解を含め、対応できる状態にしておきたい事を踏まえたツールの選定、活用までの支援を行いました。

CASE - 4

株式会社エアノート

事業内容 管工事業(エアコン点検・修理・施工)

従業員数 7名



事業参加までの
背景・課題

基幹業務はデジタル化されているものの、いまだ業務において無駄があるだろうと思っていた。在宅勤務の環境やデータ管理に対する不安点、業務上削減できる無駄などを改善するため、本事業に参加した。

取組内容 | 生産性の向上、時間の創出、コスト削減

テレワーク環境ツールの選定・導入支援を実施。

また、現場写真を社員が携帯電話から社内サーバーにアクセスが出来る環境ツールを選定・整備。整備した環境を活用する為の勉強会の計画や、札幌市の「テレワーク補助金」のアドバイスを実施。(ツール導入に活用)

導入ツール

- YAMAHA L2TP VPN
- Microsoft RemoteDesktop
- Buffalo Webaccess iアプリ
- Buffalo NAS
- ノートパソコン

導入成果・成果予測

- ✓ 在宅からでも事務所と同様の業務作業が行えるようになり、多様な働き方に対応できるようになった。
- ✓ 事務員の保存作業を忘れる事や、二重作業が改善され、作業精度の向上や作業効率のアップを実現。
- ✓ 補助金を活用することにより、自己負担を軽減することができた。

6時間/月
削減

60万円
自己負担
軽減

導入担当者の声

事業に参加し、当社で課題になっていたことが一度に複数解決できました。特にVPNによるリモートアクセスとリモートデスクトップについては働き方が変わる大きなきっかけになります。まだまだ活用できていない点、もっとデジタル化していく点があるのでこれからもご指導、アドバイスお願いします。

担当アドバイザーより お客様の課題による伴走支援の進め方

お客様の方で業務において見直し出来る点があるだろうと思われていましたので、業務の流れについてヒアリングを行いました。状況のヒアリングにより課題を抽出し、改善の支援を行いました。課題改善を進める上で、ツールの導入する際に費用が発生する事から、札幌市の助成金を案内し、お客様の自己負担を少しでも軽減出来るよう併せて支援を行いました。

CASE - 5

株式会社イエテック

事業内容 水道設備業(便器・水道蛇口・洗面化粧台等の販売)

従業員数 2名



事業参加までの
背景・課題

日報を紙に書き、写真に撮ってLINEで送り、事務員が受け取り後、印刷して保管を行っていた為、作成と管理に時間がかかっていた。その他の業務においても効率化を目指していきたいと感じていたため、本事業に参加した。

取組内容 | フォーム作成ツールによる作業負担軽減、印刷費用削減

日報作成のためにフォーム作成ツール(GoogleForms)を選定し導入し、エクセルでの一覧管理に変更。ディスプレイモニターを導入。売上管理のためのアプリ(ザックリ収支管理)を選定し導入。カタログ活用方法を紙からタブレットに変更。(タブレットは導入済み)

導入ツール

- Microsoftforms
- ディスプレイモニター(デュアル用)
- ザックリ収支管理

導入成果・成果予測

- ✓ 業務終了後、帰宅してから紙の日報に記載し、LINEで報告と手間がかかっていたことから日報入力の負担軽減になった。
- ✓ 書類管理のデジタル化により印刷枚数の削減になった。
- ✓ タブレット1つで多数の商品説明が可能になった。
- ✓ 日時で売上管理をすることにより、売上目標に対する意識が高くなった。

業務効率
UP

紙の使用量
120枚/月
軽減

導入担当者の声

技術的なサポートはもちろん、経営に関する相談まで、真摯に向き合ってくださいました。手書きで提出していた日報や、売り上げ推移などを、フォームやアプリに代替しました。また、どこにいてもすぐにデータを見られるようにし、業務の時間短縮、売り上げに対するモチベーション向上にも繋がり、新たな戦略を立てるきっかけとなりました。これからも少しずつDXを進めていき、他社との差別化、競争力の向上に努めたいと思います。

担当アドバイザーより お客様の課題による伴走支援の進め方

業務がほぼアナログ的に行われていたため、デジタル化への取り組みに対して「難しい」と感じないよう、簡単に効果が実感できることから始めていこうと考え、日報のデジタル化支援からスタートしました。次に、カタログのデジタル化に取り組みました。さらに、作業効率UPのためのデュアルディスプレイモニターでの業務を実践し、日々の売上管理など、前向きに取り組んでいただけため、想像以上にDX化を進めることができました。

CASE - 6

株式会社メイプル・ホーム

事業内容 不動産管理業

従業員数 2名



事業参加までの
背景・課題

札幌と富良野の拠点があり、富良野は環境が整備されていなかったため、札幌にいる時と同様の業務ができない状態だった。どちらにいても業務ができる環境を作りたいと感じ、本事業に参加した。

取組内容 | テレワーク環境の整備による移動時間削減

札幌、富良野のどちらでも同様に業務作業が行えるようなテレワーク環境ツールの選定・整備を実施。導入後、整備した環境を利活用する為の支援を実施。

導入ツール

- サーバー
- VPN
- ノートPC

導入成果・成果予測

- ✓ 札幌、富良野どちらにいても同様の業務作業が行えるようになり多様な働き方が対応できるようになった。
- ✓ そのため札幌と富良野間の行き来が週3回程から月2回程度まで減らせる事ができ、移動時間が大きく削減した。

多様な
働き方へ

44時間/月
移動時間
削減

導入担当者の声

この度、支援を受けて遠隔地でのリモートワーク体制を整えていただき大変助かりました。札幌と富良野の行き来が週3回程あったのが、月2回程度迄減らす事が出来ました。札幌の事務所がそのまま富良野に有る状況が出来、心身共に大きな負担が無くなり、更なる事業展開と社内体制の充実に力が入れると感じております。

担当アドバイザーより お客様の課題による伴走支援の進め方

お客様の課題が、事務所でしか業務作業ができないと明白だった為、環境を整備すれば改善できると予測ができました。そのため、環境の整備後、利活用していただく為のフォローを意識して支援を行いました。

CASE - 7

株式会社北祐

事業内容 内装工事業

従業員数 3名



事業参加までの
背景・課題

現場での作業終了後、事務所に戻り事務作業を行っていたが、より有効的に時間を活用できないか模索していた。外出先でも事務作業ができる環境を作りたいと感じていたため、本事業に参加した。

取組内容 | テレワークツール導入による業務効率化

外出先でもオフィス同様の業務作業が行えるよう
テレワーク環境のツールを選定・整備を実施。
導入後、整備した環境を利活用する為の支援を実施。

導入ツール

- サーバー
- VPN
- ノートPC

導入成果・成果予測

- ✓ テレワーク環境整備により、オフィス同様の業務作業が行えるようになり多様な働き方が対応できるようになった。
- ✓ 業務作業を行うためのオフィスへの移動時間が削減した。
- ✓ 外出先からでもオフィス同様の業務作業が行えるようになり、アイドルタイム(無作業時間)が削減した。

多様な
働き方へ

紙の使用量
削減

導入担当者の声

当社の業務内容は現場での業務・打合せが主で、この度のDX導入したことで空き時間の効率化が図れました。また、紙の削減、従業員の残業時間が減りメリットを感じております。今後ともDXを進めながら、業務の効率化・従業員の賃金UPに繋がる様に頑張りたいと思います。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

様々なお客様を支援している中で、今まで環境の整備やツールを導入したことで満足されてしまい、十分に活用されていない声をお聞きすることが多かったため、利活用いただく為の運用面でのフォローを意識して支援を行いました。

CASE - 8

株式会社ヤマテック

事業内容 外装工事業(サイディング)

従業員数 7名



事業参加までの
背景・課題

紙書類の運用が多く、デジタル管理が出来ていなかった。社員の病欠時に業務に支障が出た経験から、デジタル化を推進し、テレワークができる環境の整備や管理方法を改善したいと感じたため、本事業に参加した。

取組内容 | 業務効率化、電子帳簿保存法対応、データ損失リスクの低減

勤怠管理ツールの選定・導入を実施。
電子帳簿保存法に対応したクラウド型会計ツールの選定・導入を実施。
ツール導入後、ツールを利活用する為の支援を実施。

導入ツール

- HRMOS勤怠
- eco会計クラウド

導入成果・成果予測

- ✓ 勤怠管理の効率化による作業時間工数の削減ができた。
- ✓ 過去の書類を探す時間工数の削減ができた。
- ✓ 経理書類損失リスクの低減ができた。
- ✓ 電子帳簿保存法改正に向けた整備ができた。

業務時間
効率化

リスクの
低減

導入担当者の声

従業員の勤怠管理をエクセルで行なっていたので打ち込み時間の短縮をすることができました。電子帳簿保存法への対応やDXの取り組みでアドバイスをいただき、これからの時代に柔軟に対応し、効率的に無駄なく企業価値を高めていければと思っています。

担当アドバイザーより
お客様の課題による伴走支援の進め方

デジタル化に対しては前向きに取り組む考えを持たれており、今後対応を迫られる電子帳簿保存法への対策と現状の管理体制の見直しを実施しました。現状の業務管理の方法をヒアリングしていく中で、勤怠管理をエクセルで行われ、入力の手間を含み、作業時間がかかっていたため、効率的な活用ができる環境の整備を実施しました。

CASE - 9

山鋼札幌株式会社

事業内容 鉄鋼2次卸業、金属製造加工業
従業員数 28名



事業参加までの
背景・課題

勤怠管理を含む業務全般において紙での管理を行っていたが、管理に時間がかかっていた。以前より工数の削減を行いたいと感じていたため、本事業に参加した。

取組内容 | 作業工数の削減、紙の使用量削減

紙使用業務の洗い出しを実施。運転日報についてはフォーム作成ツール(forms)を選定。選定後、日報のテンプレートを作成し、利活用する為の支援を実施。勤怠管理については勤怠管理ツール(HRMOS勤怠)を選定、導入。導入後、HRMOS勤怠を登録し初期設定実施。(検証を予定)

導入ツール

- forms
- HRMOS勤怠

導入成果・成果予測

- ✓ デジタルで日報管理ができるようになり、集計データの蓄積が可能となった。
- ✓ 勤怠管理集計工数の削減になった。

2時間/月
削減

紙の使用量
削減

導入担当者の声

当社では、今まで運転日報を紙ベースで行っておりましたが、この度ご支援をいただき、アプリでの管理に移行できた事により作業時間の短縮が出来ました。まだまだDXに関して取り組むことが沢山ありますので、いただいたアドバイスを参考に今後も取り組んでまいります。

担当アドバイザーより お客様の課題による伴走支援の進め方

業界的にペーパレス化が進んでおらず、進めていきたいが難しいとされていました。そこで自社内での業務において対応可能な部分から始め日報や勤怠管理をデジタル対応させる事からスタートし、DXのメリットを感じていただくよう支援を行いました。

CASE - 10

株式会社JSDハイセル

事業内容 農業コンサル業
従業員数 3名



事業参加までの
背景・課題

勤怠管理を今まで行っていなかったが、将来的に従業員を雇う事を考えているため、勤怠管理の必要性を感じていた。また、電子帳簿保存法の法改正に伴い書類の電子化の必要性もあるため、本事業に参加した。

取組内容 | 状況把握、電子帳簿保存法の対応

勤怠管理ツール(HRMOS勤怠)の選定、導入。導入後、整備した環境を利活用する為の支援を実施。
クラウド型会計ツール(eco会計クラウド)の選定、導入。導入後、整備した環境を利活用する為の支援を実施。

導入ツール

- HRMOS勤怠
- eco会計クラウド

導入成果・成果予測

- ✓ 勤怠管理を行う必要性が理解できた。
- ✓ 電子帳簿保存法への理解が深まった。
- ✓ 電子帳簿保存法改正に向けた整備ができた。

業務時間
効率化

生産性
UP

導入担当者の声

DXの推進に当社も関心があり参加させて頂きました。会社自体、まだきちんとした形になっていないため、様々な面で活用出来る事が実感できました。これから、効率と生産性を上げ、柔軟に働く可能性を感じました。何事も新しいことを導入する際は、少し抵抗がありますが、実際に活用し続けることで、今までよりも確実に導入して良かったと感じています。これからは、DXを上手にバランスをとりながら活用したいと思います。

担当アドバイザーより お客様の課題による伴走支援の進め方

DXを推進していく意欲を持ちつつも、取り組むことができていませんでした。DXに関しては、一からのスタートであったため、現在の業務内容のヒアリングより、改善が見込める勤怠管理と電子契約、クラウド会計に焦点を当てて支援を行いました。デジタルツールを導入しても、活用しきれていないケースが多い事から、導入前に体感していただくことが重要だと考え、デモンストラーションの実施を含めた支援を行いました。

お問い合わせ

[発行]

一般財団法人 さっぽろ産業振興財団 IT産業振興部

〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1-10

札幌市エレクトロニクスセンター

Tel : 011-807-6000 Fax : 011-807-6005 Mail : it-pro@sec.or.jp

札幌市経済観光局経済戦略推進部 イノベーション推進課 IT産業係

Mail : it.contents@city.sapporo.jp